

ご挨拶

一般社団法人 保育教諭養成課程研究会
理事長 無藤 隆

平成 29 年 3 月に新しい幼稚園教育要領が告示された。今回の幼稚園教育要領を含む学習指導要領等の改訂では、育成すべき資質能力を軸にして、幼児教育から高等学校教育までの一貫した理念の基で教育内容の改善がなされた。教員養成を行う大学等においては、現在進められている学校教育改革の一連の流れを理解し、養成に当たる必要がある。

本調査研究は、幼稚園教育要領改訂を踏まえ、文部科学省の「教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会」において、現在検討している教職課程コアカリキュラムに沿って、特に幼稚園教諭の養成課程における実践力育成の核となる科目「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」と「幼児理解の理論及び方法」、さらに「領域に関する専門的事項」等のモデルカリキュラムの開発を目指すものである。

モデルカリキュラム作成に当たっては、本調査研究の実行委員 30 名全員により、全国の幼稚園教諭の養成課程におけるモデルカリキュラムに関わる科目のシラバスをできる限り集めた。その上で、科目ごとに、それぞれのキーワードを拾いながら、モデルカリキュラム作成のための協議に生かすことから始めた。驚くことは、シラバスを集めれば集めるほど、同一の科目でありながらも、その視点が追加され、全国の幼稚園教諭の養成課程において、実に多種多様な授業がなされていることである。

そのことは、各大学等の特色があることを示すことではあるが、一方に、幼稚園教諭の養成課程の質保証ということでは課題も感じる。つまり、質保証という観点から見直し点検も必要である。こうした課題を受けて、教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会より、6 月には、教職課程コアカリキュラムが示される予定である。

各大学等においては、今後、教職課程コアカリキュラムに基づき、各々の教職課程を見直し再編することが求められる。本書に示すモデルカリキュラムを参考にして、それぞれの教職課程を見直し、質の高い幼稚園教諭を養成する教職課程を再編することを願っている。

平成 29 年 3 月